

申請を希望する場合は、応募書類を準備の上、10月3日（月）までに農学部・農学研究科教務係に提出のこと。なお、すでに令和5年度に他の奨学金受給が決定している者および申請中（直接応募含む）の者は原則として、選考対象外とします。

公益財団法人 綿貫国際奨学財団

2023年度奨学生募集要項

I. 奨学金制度の概要

1. 支給金額

学費及び生活費として、下記の金額を支給する。
月額 150,000 円

2. 奨学期間

- ①新規採用の場合は、原則1年間（4月～翌年3月）とする。
- ②継続・延長申請を認めた場合は、①と併せ最長3年間の受給を認める場合もある。

3. 申請者の区分

申請者は下記のように区分する。

- ①新規申請者…財団の奨学金を受給したことの無い者。
- ②継続申請者…現在当財団の奨学生および以前、当財団の奨学金を受けたことのある者で継続を希望する者。
- ③延長申請者…1年以内に指導教官から博士号取得の見込みがある旨の推薦を受けた現奨学生について、6ヶ月程度の延長を認める場合がある。（オーバードクターの際）

4. 支給停止等の要件

下記のいずれかに該当する場合は、奨学金の支給を停止、又は奨学生の資格を失う。

- ①当該大学の学籍を失ったとき。
- ②病気その他の事由により、修学・研究を継続する見込みのないとき。
- ③学業成績不良、又は指導教官から修学・研究の継続に不適格と認められたとき。
- ④応募書類等に虚偽の記述が認められたとき。その他、当財団の奨学生として、ふさわしくない素行のあったとき。
- ⑤その他の異動により、応募資格に該当しなくなったとき。

5. 奨学金支給時期 ※初回の奨学金支給の時期にご注意くださいませ。

6月30日頃（4か月分）

8月25日頃（2か月分）

10月25日頃（2か月分）

12月25日頃（2か月分）

2月25日頃（2か月分）

・2023年4月1日現在で大学院に正規生として在籍する者。
※留年したことがある学生については理由を問わず応募不可

・日本語によるコミュニケーションに支障のない者
※募集要項内では上記の日本語要件が求められているが、
日本語の簡単なコミュニケーションが取れるならば応募可

II. 応募資格

1. 国籍と在留資格

日本以外の国籍を有し、アジア太平洋地域諸国（V. 応募者国籍の範囲）から、在留資格「留学：College Student」で来日している者。（家族に日本在住の外交官や駐在員、及び日本国籍者がいる者は応募資格が無く、支給開始後に該当することになった場合は、その時点で支給停止。）ただし、採用上のバランスを保つため、国籍による募集制限を行う場合がある。

2. 在籍大学

当財団が推薦を依頼する大学の、大学院博士課程（前期・後期）、及び医・歯学系博士課程に在籍する者。留年者を除く。（ただし2023年3月31日迄に次年度入学が決定する者、あるいは2023年4月以降に進級見込みのある者を含む。）

3. 資質

優秀な学力と穏健な性格をもち、心身ともに健全な者。将来、グローバルな視点をもった指導者を目指し、国際理解と親善に貢献する意欲のある者。日本語によるコミュニケーションに支障のない者。

4. 奨学金の併給

他奨学金の併給は認めない。現在受給中の他奨学金の支給期間が2023年4月以降に及ぶ場合は、その奨学金を辞退する者。

5. 交流事業への参加

年2回の「奨学生の集い」に参加すること。奨学金終了後も当財団との交流を継続すること。

6. 経済的に困窮している事が客観的に認められること。

III. 応募方法

1. すべての応募者は、指定大学（在籍中、又は進学予定）の推薦を受け、応募書類を作成し、指定大学を経由して提出すること。

2. 応募書類

①奨学金申込書（エクセルデータで提出）

証明写真データを貼り付けること。（2022年4月以降撮影したもの。上半身正面向き。）

②指導教官の推薦状（エクセルデータで提出）

③奨学生推薦状（署名、捺印後スキャンしてpdfデータでの提出）（自筆）※推薦大学所轄部名欄は留學生課で記入します。

④研究状況報告書…今後の研究計画又は現在までの研究状況について作成。

日本語で自筆のものをスキャンして提出。

⑤上級課程進学予定者は、合格通知書。応募時に合格していない者については、合格次第の提出で可。または、在学証明書

⑥学業成績表。現課程のものが入手不可能な場合は、直前課程の成績表。

※博士後期課程で成績評価をおこなっておらず成績表の発行ができない場合は、直前課程の成績表と合わせて、申請時点の修学状況や教授の評価がわかる書類を作成し提出すること。

⑦外国人登録証明書のコピー。（表・裏）

※⑥の「学業成績表」は学部以降現課程までのもの

留學生課選考で使用しますので、別紙成績評価係数算出方法を参照の上、算出した値を鉛筆書きで記入のこと

3. 応募書類は英語または母国語表記の表示がない限り原則としてすべて日本語で作成すること。

IV. 選考と採用

1. 選考は、書類選考と面接試験により行い、採用は選考委員会を経て、理事会で決定する。
 2. 書類選考結果は、12月下旬～1月頃通知予定。(新規応募者と在籍大学に対し一次合格通知(面接通知)または不合格通知、継続・延長応募者と在籍大学に対し内定通知)
 3. 面接試験は、1月頃を予定。
 4. 面接試験結果は、面接実施者と在籍大学に対し、2月頃通知予定。
 5. 最終決定は、3月の採用資格確認を経て、4月末頃を予定。
- ※ 応募書類は返却しません。また、選考内容に関する問い合わせには一切応じません。

V. 応募者国籍の範囲

パキスタン	ネパール	インド	ブータン
スリランカ	モルジブ	バングラデシュ	ミャンマー
タイ	ラオス	カンボジア	ベトナム
フィリピン	インドネシア	マレーシア	ブルネイ
シンガポール	台湾	韓国	中国(香港を含む)
モンゴル	オーストラリア	西サモア	ニュージーランド
パプアニューギニア	ソロモン諸島	その他太平洋上諸国	

※当財団では国籍の偏りがないように、できるだけ多くの国から留学生を採用する予定です。

2023年度は、千葉・筑波・東北・日本・亜細亜・明治・千葉工業の7大学について、新規推薦の場合は中国を募集範囲から除外します。また、東京・京都・名古屋の3大学について、新規推薦の場合は韓国を募集範囲から除外します。国籍の制限につきましては、ご理解・ご協力くださいますようお願い致します。